

# ゴ ミ ゼロ 5 3 0 レポート

第41号 2005年11月30日 発行

編集と発行 530運動環境協議会

〔豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所環境政策課内 電話(0532)51-2414〕

〔URL <http://www.530.toyohashi.aichi.jp>〕

〔E-mail [530@city.toyohashi.lg.jp](mailto:530@city.toyohashi.lg.jp)〕



## めざそう530のまち

### 530運動30周年記念特集

今年530運動が豊橋で生まれて30周年を迎えることから530運動30周年記念大会を開催しました。

式典では豊橋市長のあいさつをはじめ、愛知県環境部長、豊橋市議会議長、豊橋商工会議所会頭を来賓に迎え、ご祝辞をいただくとともに、記念表彰を行いました。また、「自然が教えてくれたこと」をテーマにタレントでエッセイストの高木美保さんの記念講演を行いました。

市民広場や市民ホールでは530フェアが行われ、530運動環境協議会会員によるブース出展の他フリーマーケット、リサイクル品の当たるビンゴゲームなどに約5,000人の市民の方にお越しいただきました。



#### 目次

##### 530運動30周年記念・環境市民530大集会

(1) 会長あいさつ .....	2
(2) 記念講演「自然が教えてくれたこと」高木美保さん .....	2
(3) 530フェア .....	3
幼児用環境教育に年長児向け授業が登場しました .....	3
“愛・地球博”で530運動を紹介しました .....	4
豊橋まつりに出展しました .....	4
編集後記 .....	4

# 530運動30周年記念・環境市民530大集会

## 530運動30周年を迎えて



530運動環境協議会  
会長 石井一陽

豊橋市の530運動もここに30周年を迎えました。

発足以来、毎年メインイベントである2回以上の全市民クリーンアップ作戦には、10万人を超える市民の皆さん、小中学校や事業所の方々にも積極的に参加して豊橋の美化に汗を流していただきました。感謝申し上げます。

530運動がはじまった、30年前の昭和50年は高度成長の真っ只中であり、生活水準も急速に向上しておりましたが、反面、大量のゴミが排出されはじめました。どこの自治体もその処理に追いつかず、地球環境の悪化が著しく進みました。そんな時に、わが豊橋市の一市民から530運動が提唱され、それが直ちに市当局の賛同を得て、全市民規模で組織的な活動が開始されました。このことが広く知られるようになり、全国の市町村に燎原の火のように広がりました。

530運動という言葉は、いまや環境美化の代名詞となっており、この運動の発祥がわが豊橋市であることは私たちの大きな誇りでもあります。しかし、530運動がはじまり30年を経た現在の豊橋市の状況はどうでしょうか。わが豊橋は発祥の地として自負できる美しい都市になっているのでしょうか。

30周年を契機に豊橋市を訪れた人たちに「まちがきれいだ。」と誇れるような市民の共鳴を得られる活動の和をさらに広げていきたいと存じます。

30周年を契機に豊橋市を訪れた人たちに「まちがきれいだ。」と誇れるような市民の共鳴を得られる活動の和をさらに広げていきたいと存じます。

30周年を契機に豊橋市を訪れた人たちに「まちがきれいだ。」と誇れるような市民の共鳴を得られる活動の和をさらに広げていきたいと存じます。

## 記念講演

### 「自然が教えてくれたこと」

講師 高木美保さん

#### 【講演要旨】

女優として良い作品を作るためにはスタッフとじっくりと話し合いながら作りあげていきたいのに、多忙なスケジュールの中では難しく、とにかく撮り終えるのが先決。その中で流されていく恐さと自分らしくなくなってしまう不安にかられ、体調を崩してしまっ。「自分に正直に生きたい。」そう思い立ち、那須高原で野菜作りをしながら田舎で暮らしはじめた。

那須に来てから、本来の自分にやっと戻れたという安心感に満たされている。

都市に住んでいると自分の気持ちに従うことをしなくても生きていける。自然に生きること、心配するとその通りになるし、大丈夫って思えば大丈夫になる、自然のままに生きれば、おのずとうまくいく。人間って本当はそんなふうにできているものなのですね。

私達の生活は、便利なことが当たり前のものとしてすごしているが、買物袋を使いレジ袋をもらわない、出かける時には水筒を持参するなどちょっとした工夫で自然にそして地球環境にやさしくできる。できることから始めましょう。

#### 【高木美保プロフィール(タレント、エッセイスト)】

84年、映画「Wの悲劇」でデビュー後、ドラマ「華の嵐」の主役をはじめ、NHK大河ドラマ等出演。またバラエティー番組にも挑戦し、お茶の間の人気者となる。

98年11月、栃木県那須高原に住まいを移し、農業にも取り組む。

現在は、芸能生活のみならず、講演や執筆業など幅広い活動を展開。著書には那須での暮らしぶりをまとめたエッセイ集「木立のなかに引っ越しました」等がある。

記念表彰の一場面



## 530フェア

今年は快晴の空の下で530フェアを開催することが出来ました。会場の市役所市民ホールおよび市民広場では530運動環境協議会会員による簡単に出来る生ごみ処理の方法紹介、リサイクル品の配布、天然ガス自動車の展示等が行われました。

家具や自転車のリサイクル品が当たるビンゴゲームやフリーマーケットには多くの方に参加していただきました。ビンゴゲームの景品の家具や自転車はまだ使える物を修理しリサイクルして利用しています。

またフリーマーケットは各ご家庭で必要なくなった物を必要な方に安価で譲り使うことでごみになるのを防ぐ狙いがあります。

この日、多くの方にお越しいただきました。手に入れたものをいつまでも大切にしてください。



## 幼児環境教育に年長児向け授業が登場しました

530運動環境協議会では昨年度に引き続き幼児向け環境教育を実施しました。

平成17年度は6月から9月にかけて市内41の幼稚園・保育園を回り、のべ4,500人の園児に分別やリサイクルの大切さについて伝えてきました。

今年は、昨年度の園からの声を生かし、新たに、リサイクルの様子分かる上映をとり入れた年長児向けの授業を実施しました。

年長児向け授業は大きく分けると前半のクイズと後半のパソコンを使った上映から成っています。内容は、というと530のキャラクター「トントン」からの一通の手紙から始まります。手紙には530クイズに答えると530工場へと招待され、530ぴかぴか隊になれると書かれています。530工場？530ぴかぴか隊って？何だろうといったワクワクした気持ちの中でクイズが始まり、“リサイクル”というキーワードを無事に手に入れることが出来ると、530工場へと進んで行きます。530工場では分別されたごみがリサイクルされて実際の製品になってゆく様子を映像で見ることができます。ごみは分けると生まれ変わるということを一通り学んだ後「トントン」は子供達に問いかけます「ごみを分別することが出来るし、分別したごみも生まれ変わるけど、どんどん使ってどんどん捨てていいの？」これこそがこの年長児向け授業で一番伝えたいことなのです。

出てしまったごみを分別することは大切です。しかし本当に大切なのは必要な物しか買わない、壊れても直して何度も使いごみを根本から減らすことです。

授業が終わると一人一人にバッジを渡します。530ぴかぴか隊と書かれたそのバッジには、伝えたことを実践して欲しいという願いがこめられています。



## “愛・地球博”で530運動を紹介しました

今年の3月25日から9月25日に開催された“愛・地球博”には2,200万人を超える人が日本中、世界中から訪れました。環境がテーマのこの万博に本協議会も豊橋の日にあたった5月19日と6月18日の2日間出展し、30周年を迎えた530運動の活動を紹介しました。

530運動が豊橋で生まれる前年、アメリカのスポーケン市で「汚染なき進歩」をテーマとした万博が開催されました。1851年にロンドンで万博が開催されて以来初めて産業中心から環境へとそのテーマが移っていった年でした。この頃、公害やごみにより環境が急激に悪化していたのです。31年後の今日、公害も環境への関心の高まりや科学技術の進歩により、解決されるようになってきました。

しかし捨てられるごみは減りませんでした。テレビや冷蔵庫はもちろん、パソコン、携帯電話、一家に何台もの車。同じ物が廉価で買える店や、年中買うことの出来る店。わたしたちの周りは物で満ち溢れています。そんな生活の中でいつの間にかすぐ買ってすぐ捨てる習慣になってはいないでしょうか？

一人一人が気づき、少しのことから一歩ずつ踏み出すことが大切です。そんな習慣を見直すことが、科学技術の進歩にまさる一歩となるのではないのでしょうか。



## 豊橋まつりに出展しました

2005年10月15日・16日、豊橋まつりに出展しました。530運動環境協議会の活動を紹介したパネルを展示すると共に、幼児用環境教育ビデオの上映や幼児環境教育訪問指導で使っている小道具を使い530クイズ（ゴミ分別実践クイズ）を行いました。会場には沢山の子供達が訪れ、クイズに参加し、中には以前訪問指導を受けたことのある子供達が、習ったことを思い出し親に分別を教える姿も見られました。

毎年豊橋まつりが終わった後沢山のごみがあちらこちらに残されてしまっています。今年この2日間に出たごみは合わせて約10,000kgになったそうです。



### 編集後記

530運動は豊橋で生まれ全国にまで広がりました。その活動もごみを拾うことから始まり今では環境教育、ごみを根本から減らすNo!包装キャンペーンなどにまで広がっています。豊橋で育ち、幼い頃から530運動に触れた子供達がより環境に対する高い意識を持ち、日本や、世界で活躍してくれる事を願っています。

530運動に関する詩を見つけました

豊橋市・ゴミゼロ運動

ひとりの力  
谷 聰

たった一人が  
たった一つのゴミを拾う  
たいしてかわらないけど  
たった一人が  
たった一つのゴミを捨てる  
たいしてかわらないけど  
ゴミを捨てる人は  
ゴミを捨てる人  
ゴミを捨てる人は  
ゴミを捨てる人  
ここに大きな違いが生まれる